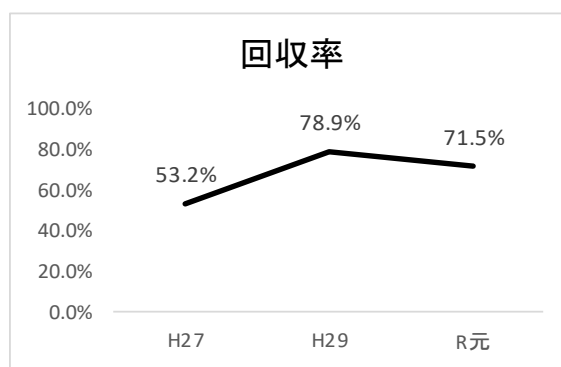


# 令和元年度福井県立大学 「学生生活に関するアンケート」結果＜年度比較＞

## ◇「学生生活に関するアンケート」の回収率について

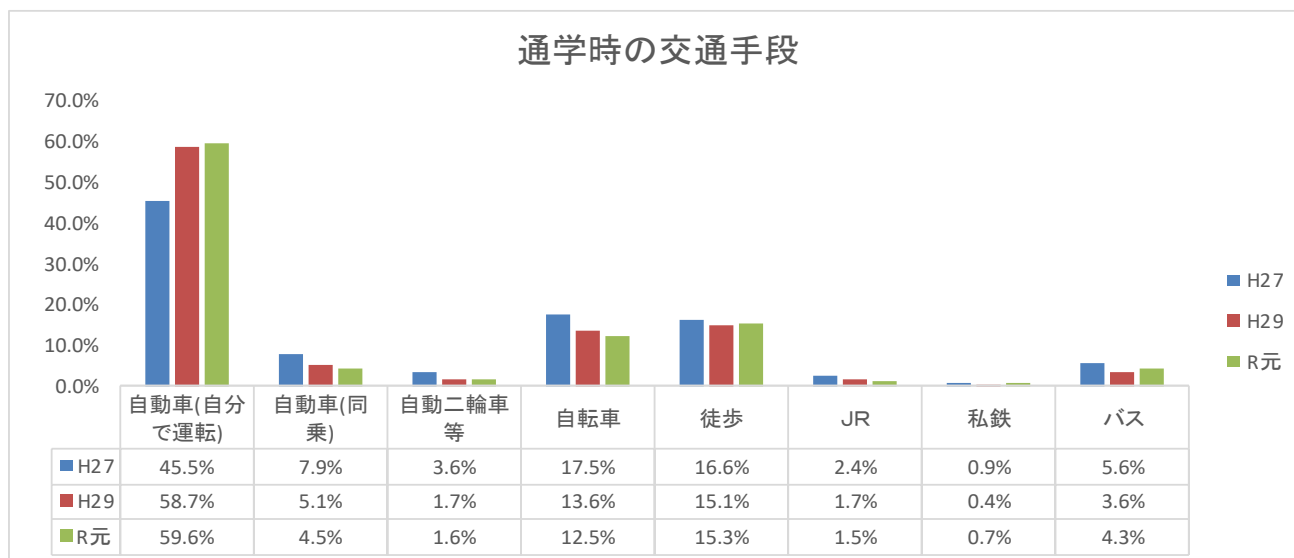
R元年度10月「学生生活に関するアンケート」を学部生および大学院生1,794名を対象に実施し、1,282名から回答があった。回収率は71.5%となり、前回より△7.4%となった。



## ◇通学方法について

通学時の交通手段は、「自動車(自分で運転)」が増加しており、今回の調査より約60%の学生が自分で自動車を運転し通学していることがわかった。続いて多かった回答は、「自転車」、「徒歩」による通学となっている。

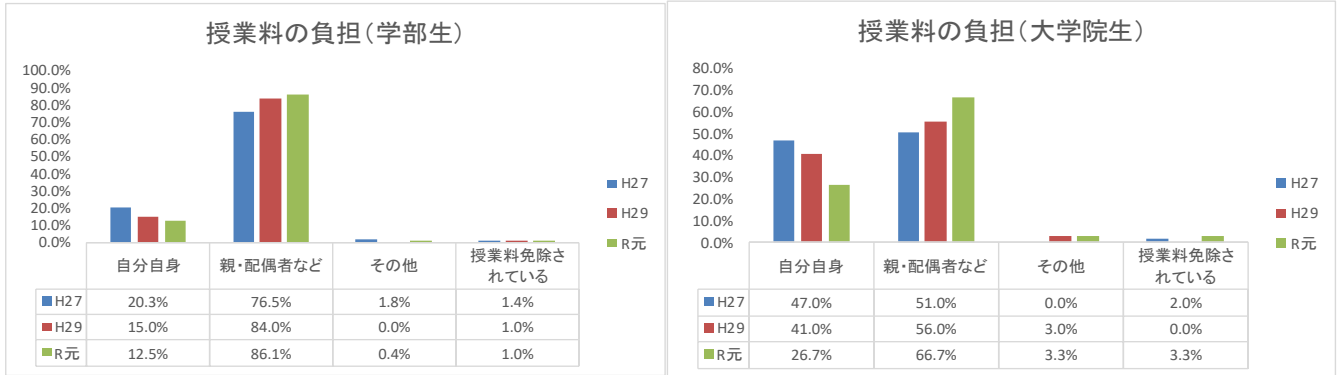
自分で自動車を運転し通学している学生が増加していることによる自動車事故の状況を、「事故報告書」をもとに調査したが、年度による自動車事故の件数に大きな変化はみられなかった。



# 令和元年度福井県立大学 「学生生活に関するアンケート」結果＜年度比較＞

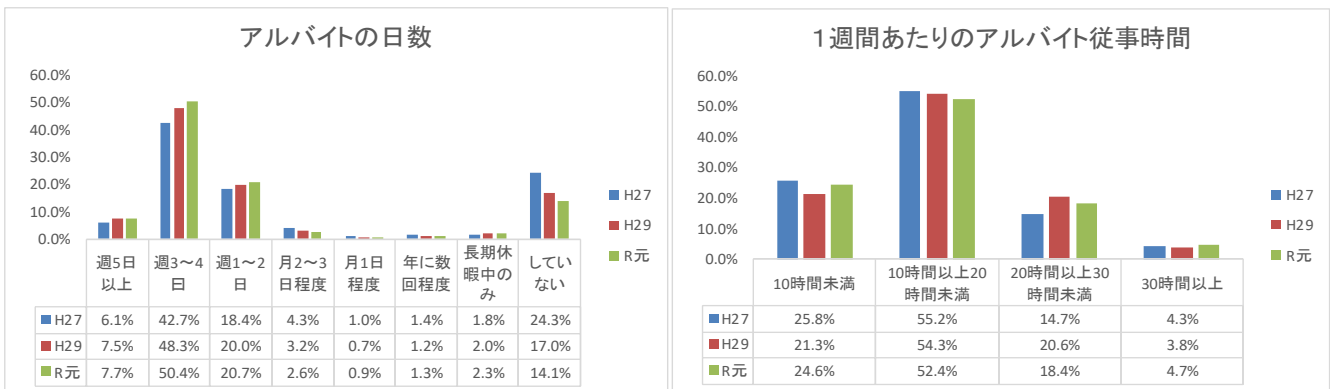
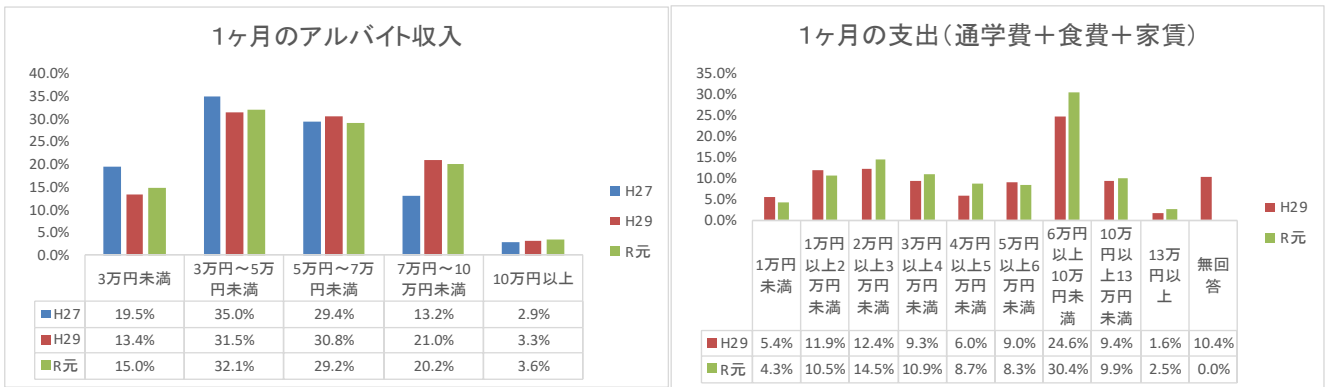
## ◇経済的事項について

「授業料は主にだれが負担していますか」の問いに対し、学部生、大学院生ともに「親・配偶者など」が最も多いが、年度比較をすると学部生、大学院生ともに「自分自身」の割合が減少しており、「親・配偶者など」の割合が増加している。



1ヶ月のアルバイト収入は、いずれの年度も「3万円～5万円未満」が最も多く。年度比較による大きな変化はみられない。1ヶ月の支出については、平成29年と令和元年を比較すると、「6万円以上10万円未満」の回答が+5.8%となった。

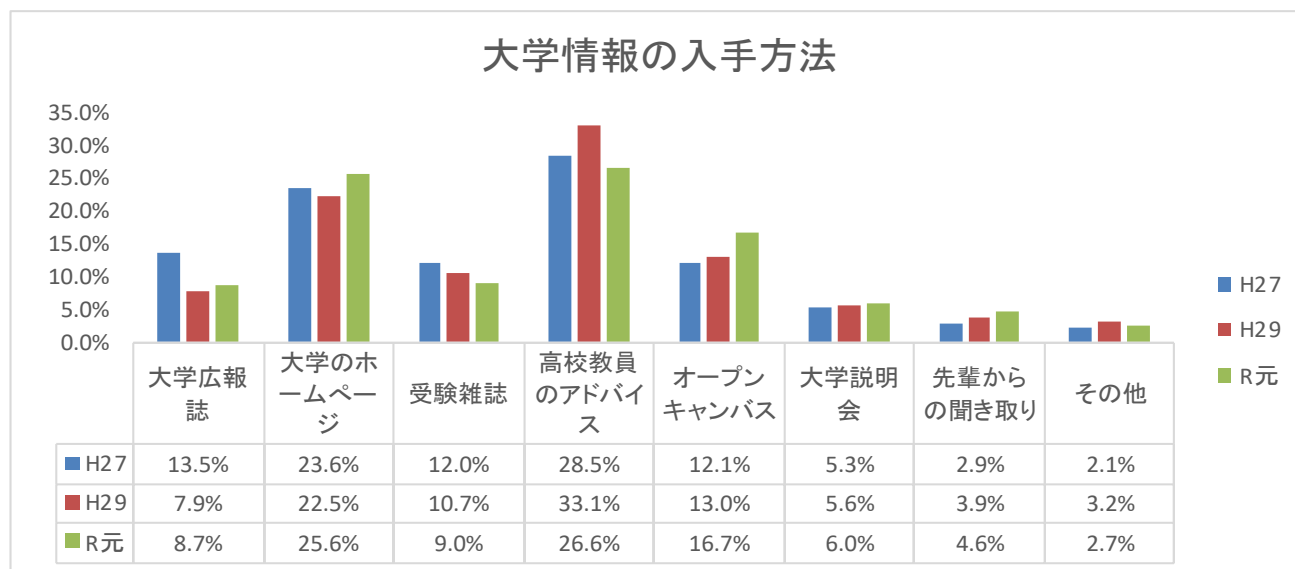
アルバイトの日数は、週1日以上アルバイトしている学生が増加しており、平成27年と令和元年を比較すると+11.7%となった。アルバイトをしていない学生は、平成27年と比較すると△10.2%となった。1週間あたりのアルバイト従事時間は、いずれの年度も「10時間以上20時間未満」が最も多く、従事時間に大きな変化はみられなかった。



# 令和元年度福井県立大学 「学生生活に関するアンケート」結果＜年度比較＞

## ◇学業状況について

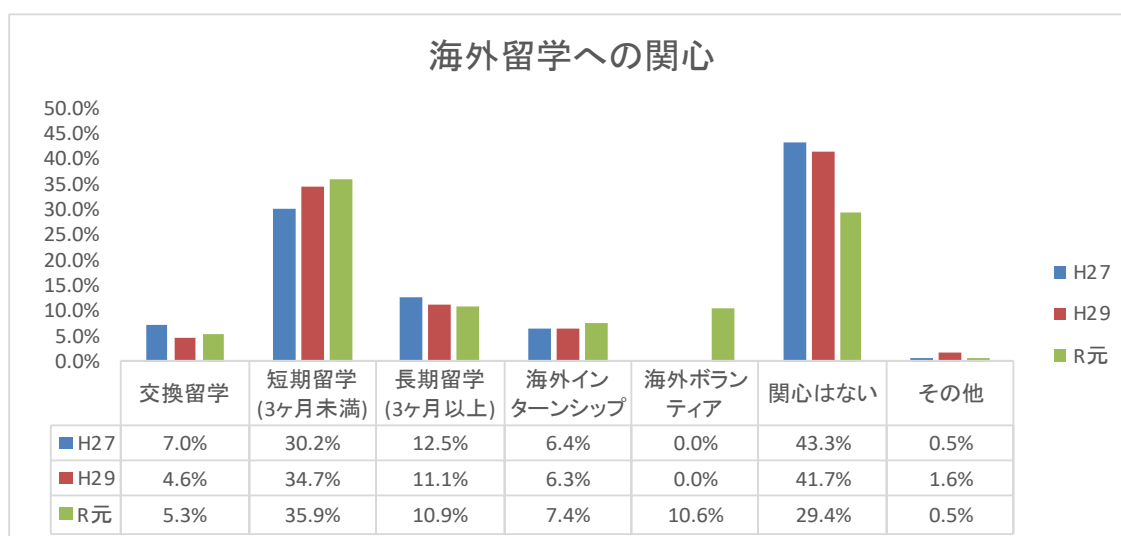
学部生に対する「志願する大学情報の入手方法」の問いに対し、いずれも「高校教員のアドバイス」が最も多い。増加している回答は、「大学のホームページ」や「オープンキャンパス」などとなった。



## ◇国際交流について

「海外留学への関心」は、「短期留学(3ヶ月未満)」がいずれも最も多く、回答の割合も増加している。令和元年より選択項目に「海外ボランティア」を追加したところ10.6%の学生が関心があると答えた。

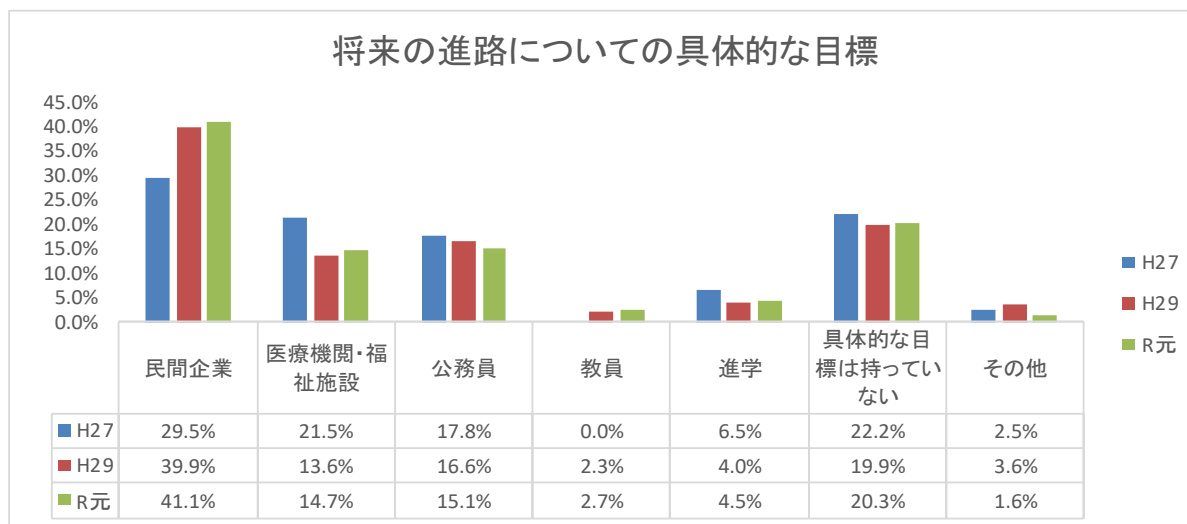
また、「関心がない」の回答は平成27年と比較すると△13.9%となった。



# 令和元年度福井県立大学 「学生生活に関するアンケート」結果＜年度比較＞

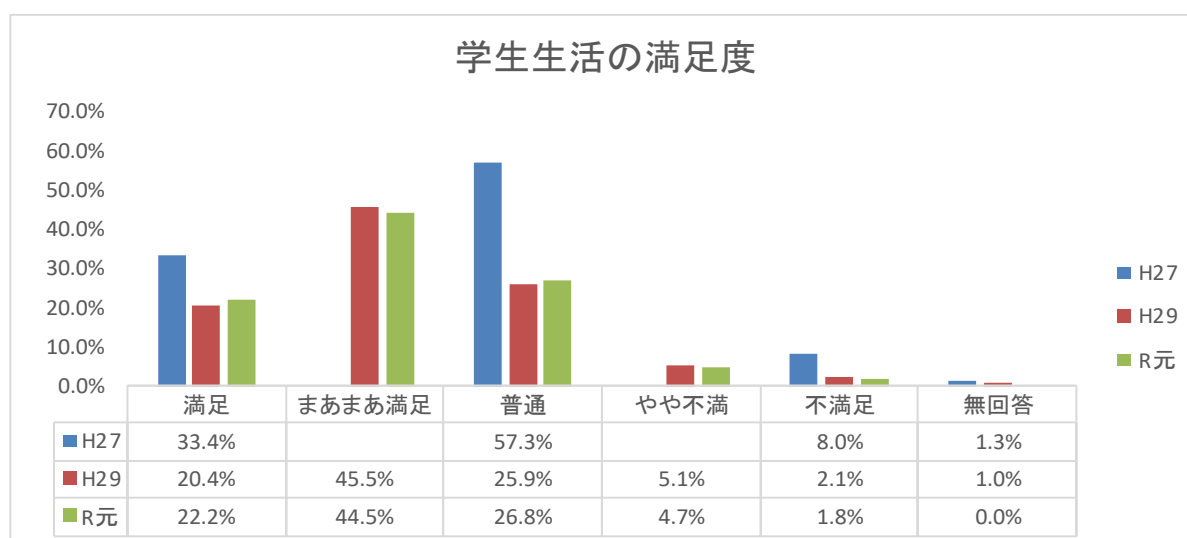
## ◇卒業後の進路について

「将来の進路について具体的な目標を持っていますか」の問いに対し、「民間企業」を目標とする割合が増加しており、平成27年と令和元年を比較すると、+11.6%となった。  
また、「医療機関・福祉施設」、「公務員」を目標とする割合は減少している。



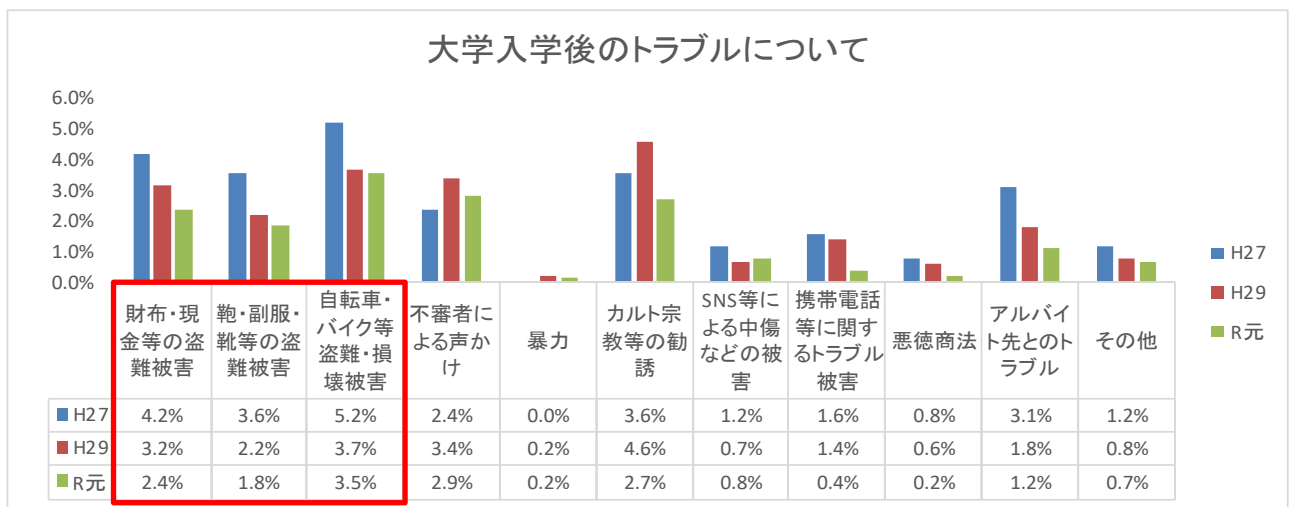
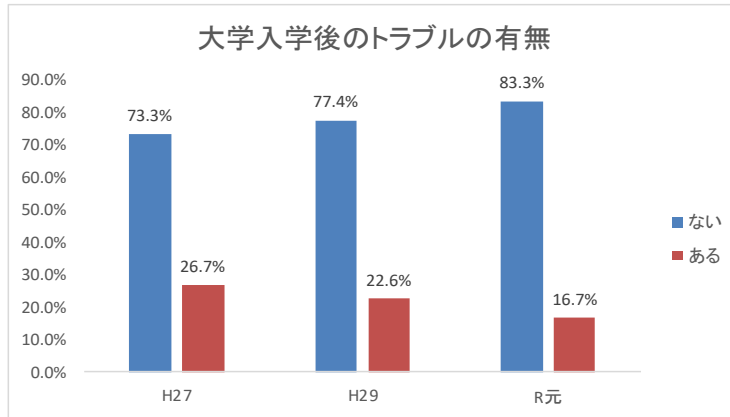
## ◇学生生活について

「学生生活の満足度」について、平成29年と令和元年を比較すると、「満足」、「まあまあ満足」が+0.8%となり、「やや不満」、「不満足」が△0.7%となった。  
(※平成27年度の選択肢は「満足」、「普通」、「不満足」の3項目であった。)



# 令和元年度福井県立大学 「学生生活に関するアンケート」結果＜年度比較＞

「大学入学後のトラブル有無」について、「ない」の回答は年々増加しており、平成27年と令和元年を比較すると、+10.0%となった。「大学入学後のトラブルの内容」としては、「盗難関係」が最も多く、続いて「不審者による声かけ」、「カルト宗教等の勧誘」であった。



「悩みごとや心配ごと」について、「ない」の回答は年々増加しており、平成27年と令和元年を比較すると、+20.6%となった。「悩みごとや心配ごとの内容」としては、「将来のこと」が最も多く、「学業」の回答は減少している。

